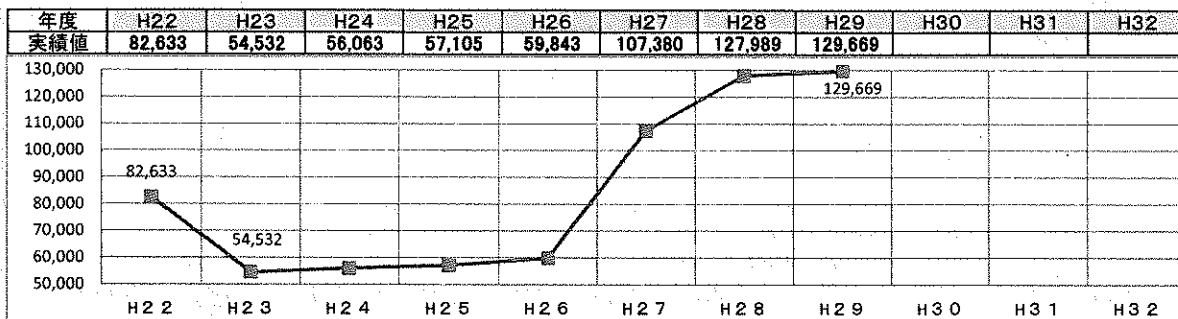


指標から見た施策の進捗状況

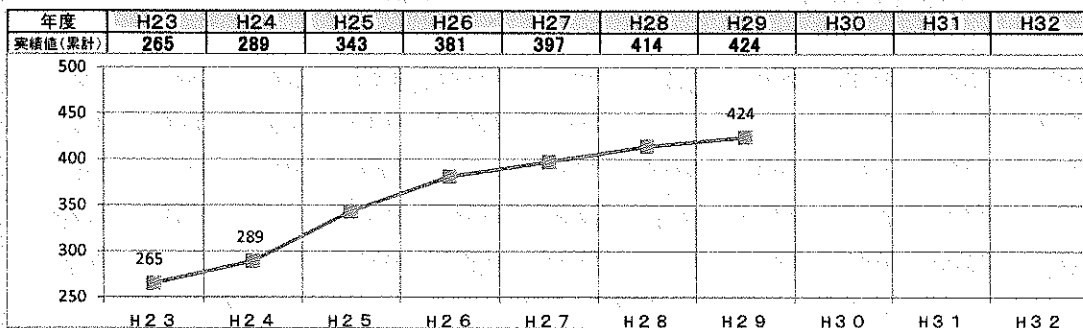
参考資料1

1 県民カレッジ受講者数(施策1)【目標値:110,000人以上(平成32年度)】



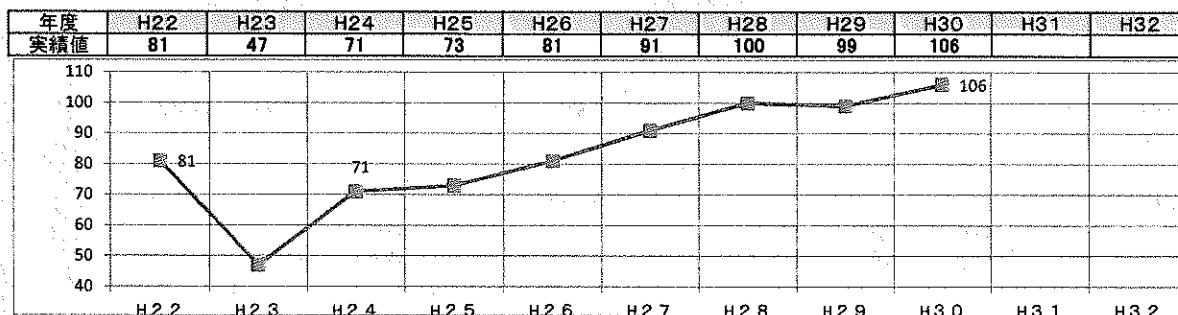
- ・市内県民カレッジ連携講座受講者数 38,557人
- ・市町村連携講座受講者数 91,112人 合計 129,669人
- ・県主催事業における県民カレッジ連携講座(受講者が一市町村に限らず、誰でも参加できる講座)については、開設要件を満たしているのか適正に判断し、実際の参加人数を計上している。平成29年度も若干の増加が見られた。
- ・震災後、意図的に生涯学習講座が多く開催された。避難指示が解除された市町村においては、避難先での講座の縮小とともに地元での講座の拡充が予想される。今後、受講者減少にならないよう、生涯学習課として関係機関と連携し、講座の情報提供を行っていかなければならない。

2 学術・文化・芸術・スポーツを活動分野のひとつとしているNPOの認証数(施策1・8)【目標値:470団体以上(平成32年度)】



- ・認証件数は着実に増加しているが、平成26年度をピークに、徐々に増加幅が減少しており、今後ほぼ横ばいで推移すると想定している。
- ・認証件数が増えている一方で、NPO法人が安定して特定非営利活動ができるよう、引き続き、法の趣旨に沿った適正な法人の運営に向け、各種情報提供等を行う必要がある。

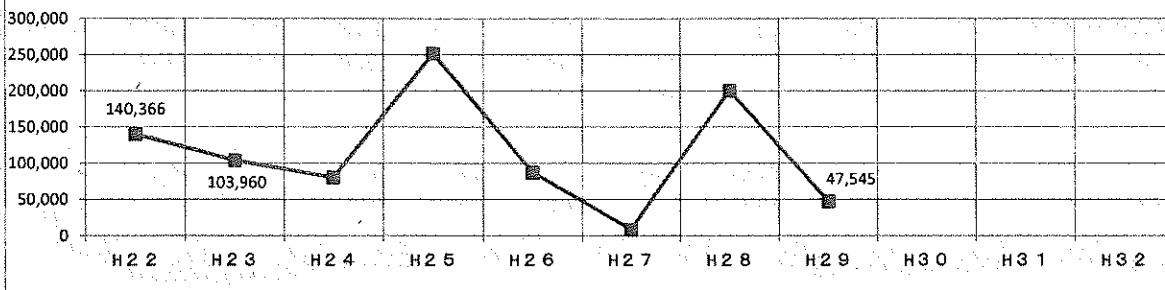
3 福島県芸術祭参加行事数(施策1)【目標値:108行事以上(平成32年度)】



- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、本県芸術・文化の魅力を発信する事業であり、引き続き参加行事数を増やしていく。
- ・より多くの県民や団体に参加してもらえるよう、芸術祭の認知度を更に高める必要がある。
- ・平成28年度福島県文化振興審議会において指標の見直しを行った。87行事→108行事

4 県立美術館の入館者数(施策2・4)【目標値:120,000人以上(平成32年度)】

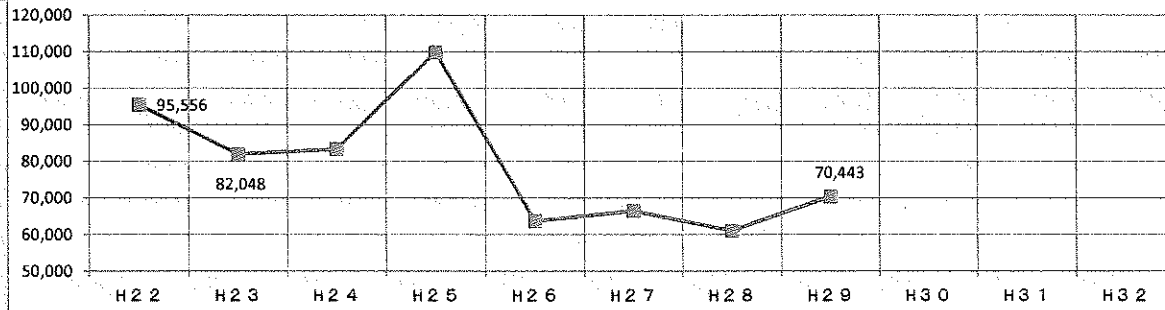
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	140,366	103,960	80,631	251,646	87,576	8,728	200,278	47,545			



- ・平成25年度はプライスコレクションによる若冲展、平成28年度はフェルメール展があり、入館者が大きく伸びた。平成27年度の入館者が大きく落ち込んだのは、工事のため、開館期間が短かったことによる。
- ・平成29年度は前年度から大きく落ち込んだが、平成30年度以降は大規模企画展開催予定もあり、数年は目標を達成できる見込みである。
- ・入館者数はその年に開催される企画展によって大きく左右されるため変動が大きく、順調に増加するとは限らない。

5 県立博物館の入館者数(施策2・4)【目標値:100,000人以上(平成32年度)】

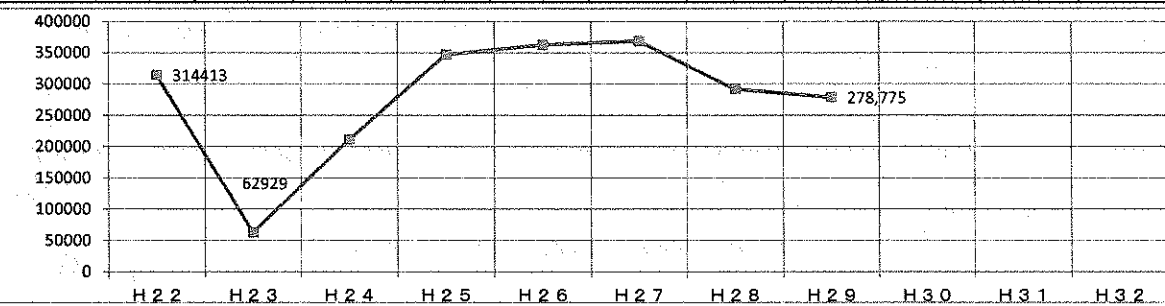
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	95,556	82,048	83,401	109,838	63,739	66,509	61,073	70,443			



- ・平成25年度は八重の桜展があり、大きく伸びたが、平成26年度以降は大規模企画展がないため、落ち込み横ばいとなっていたが、平成29年度は少し実績は上向いた。平成30年度以降は大規模企画展の開催予定もあり、数年は目標を達成できる見込みである。
- ・入館者数はその年に開催される企画展によって大きく左右されるため変動が大きく、順調に増加するとは限らない。

6 福島県文化センターの入館者数(施策2・4)【目標値:345,800人以上(平成32年度)】

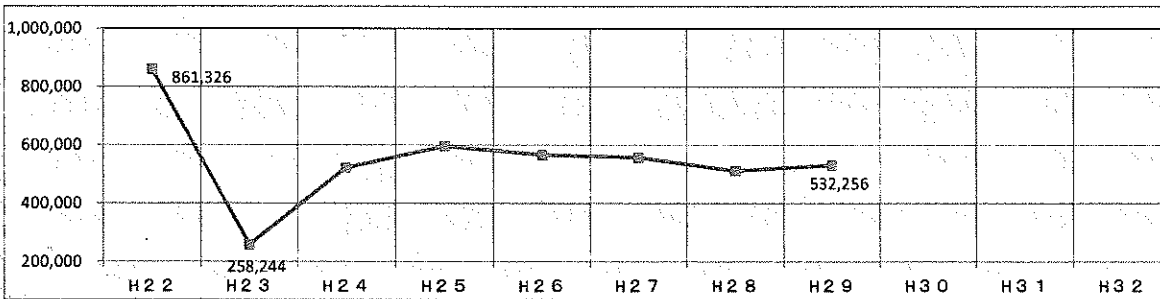
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	314,413	62,929	211,000	348,873	362,520	368,552	291,940	278,775			



- ・定期的なメンテナンスの他、ホールを休止して行う大規模改修工事(H28、H29)のため、その分利用者減が避けられない。
- ・施設の老朽化のため、今後も計画的に改修工事を実施する必要があり、その際、複数の工事時期を調整することで、休館やホールの休止期間をできるだけ少なくしていく。

7 アクアマリンふくしまの入館者数(施策2・4)【目標値:900,000人以上(平成32年度)】

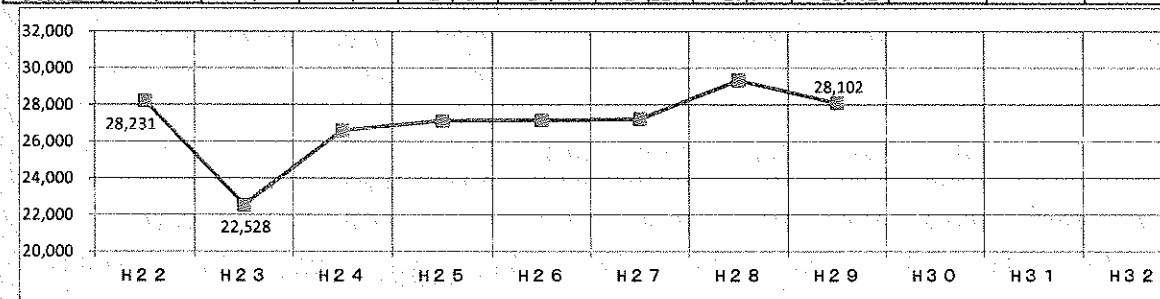
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	861,326	258,244	522,269	597,302	567,069	558,630	512,894	532,256			



- ・原発事故による風評被害の影響が未だに大きい。そのような中、平成29年度は、平成28年度より約2万人ほど入館者増となった。平成29年度にふくしまの海の改修工事を行い、常設展示の充実を図ったことが入館者数増に起因している。
- ・平成30年度は、第10回世界水族館会議の開催やイオンモール小名浜との連携強化などもあり、平成29年度より入館者増の予定である。

8 まほろんの入館者数(施策2・4・5)【目標値:30,000人以上(平成32年度)】

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	28,231	22,528	26,597	27,127	27,166	27,227	29,341	28,102			

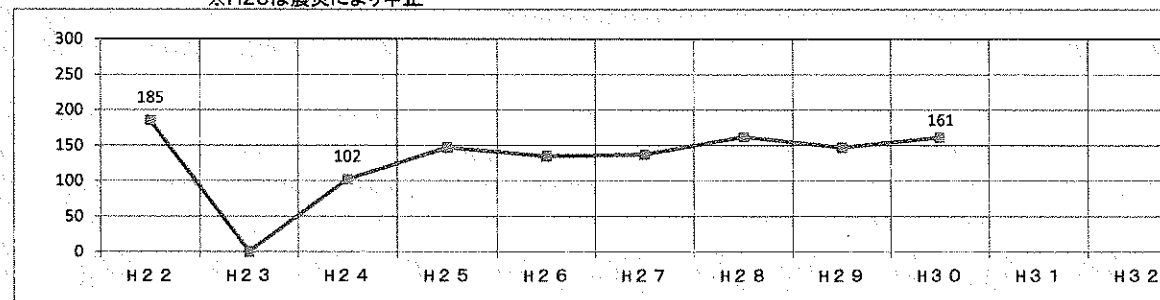


- ・近年、郡山市や福島市に類似施設がオープンし、また一昨年度には「コミュタン福島」などが開設されたこともあり、学校からの入館者数が減少している。また、社会情勢的にも団体旅行が減少傾向にある。その一方、全体数が大きく減っていないのは個人入館者数が増えていることによる。
- ・魅力ある企画・イベントの実施やより充実した情報提供などのサービスに努めていく。また、観光とのタイアップなども考えていく。

9 青少年の県総合美術展覧会への出品数(施策3)【目標値:250点以上(平成32年度)】

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	185	0	102	147	135	137	162	147	161		

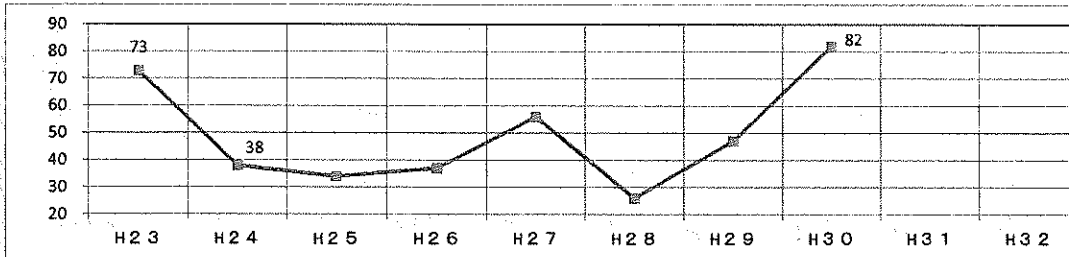
※H23は震災により中止



- ・東日本大震災直後、青少年の県展への出品は大幅に減少した。学校訪問やワークショップの開催などにより青少年の出品は回復基調にある。
- ・引き続き、青少年の出品を促す機運の醸成に努める。

10 青少年の県文学賞への応募数(施策3)【目標値:55点以上(平成32年度)】

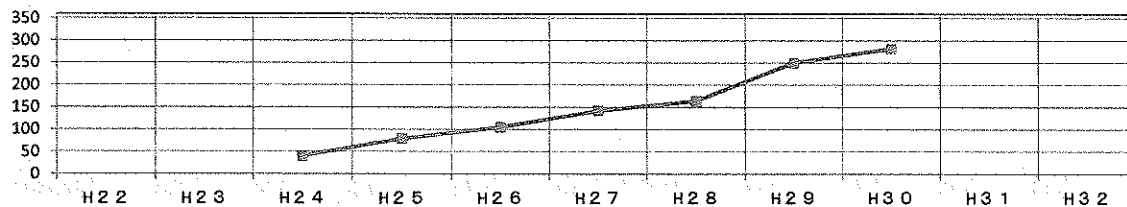
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	73	38	34	37	56	26	47	82		



- ・東日本大震災直後、青少年の県文学賞への出品は低迷していたが、講演会の開催などにより、平成30年度は82点と大幅に増加した。
- ・引き続き、青少年の応募を促す機運の醸成に努める。

11 地域伝統芸能交流会参加児童生徒数(ふるさとの祭り参加児童生徒数)(施策5)【目標値:延べ360人以上(平成32年度)】

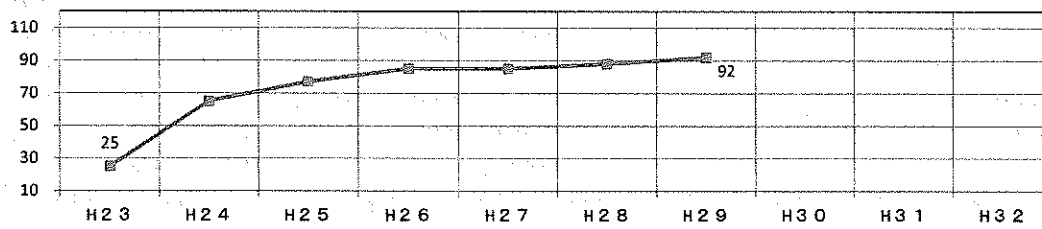
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値			40	79	105	142	164	250	282		



- ・存続の危機にある民俗芸能の継承のため、小学生に継承する団体はあるが数は少ない。
- ・「地域のたから」民俗芸能総合支援事業に参加した児童・生徒数である。その年の参加団体によって児童・生徒数は左右される。
- ・公演事業(ふるさとの祭り)を活動の再開や継承の目標として位置づけ、サポート事業と一体的に民俗芸能の復活・発展に向けた支援を行っていく。
- ・ふるさとの祭りについては、引き続き、県内だけでなく首都圏でも開催する。

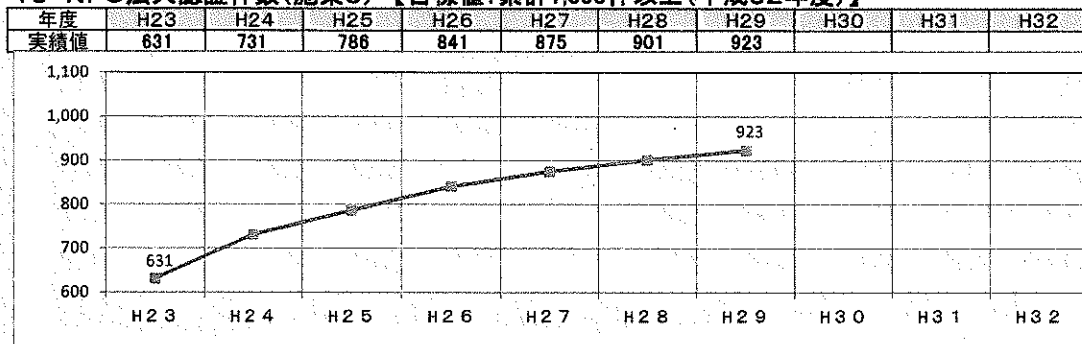
12 被災文化財の修復件数割合(施策5・8)【目標値:100%(平成32年度)】

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	25	65	77	85	85	88	92			



- ・指定文化財保存活用事業(災害復旧事業)は平成30年度で終了となり、以降は通常の補助事業の活用。
- ・未着手の所有者は2法人(3件)となったが、清算法人のため着手できない案件が含まれている。

13 NPO法人認証件数(施策6)【目標値:累計1,055件以上(平成32年度)】

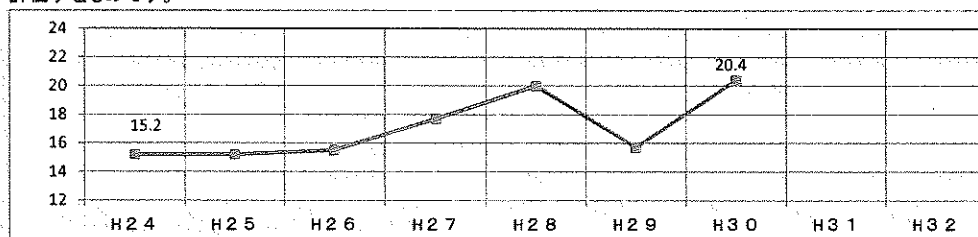


- ・東日本大震災以降、認証件数は大幅に増加していたが、平成26年度をピークに、平成27年度は34件の増加、平成28年度は26件の増加、平成29年度は22件の増加と、徐々に増加幅が減少しており、今後も同水準で推移すると想定している。
- ・認証件数が確実に増えている一方で、NPO法人が安定して特定非営利活動ができるよう、引き続き、法の趣旨に沿った適正な法人の運営に向け、各種情報提供等を行う必要がある。

14 地域住民やNPO等による地域づくり活動に積極的に参加していると回答した県民の割合(施策6) 【目標値:上昇を目指す(平成32年度)】 ※福島県政世論調査項目

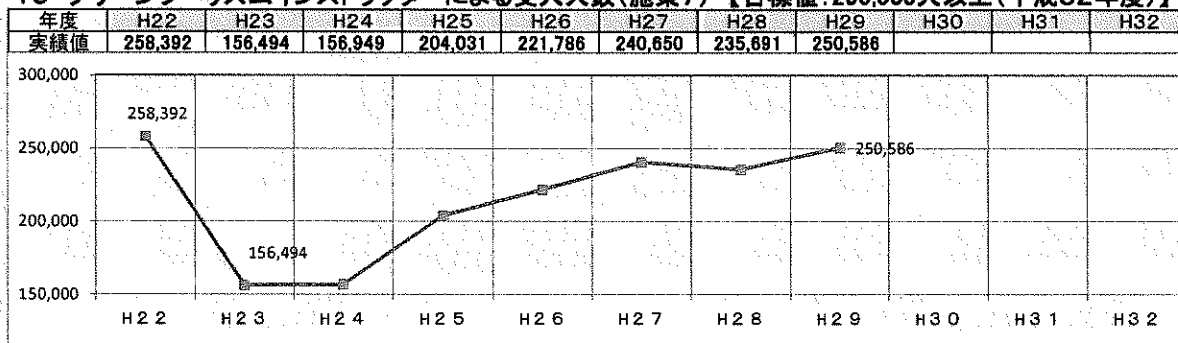
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	15.2	15.2	15.5	17.7	20.0	15.7	20.4		

※福島県政世論調査項目は、通常の指標で図ることが困難な県民の意識について、県政世論調査結果を用い、県民の視点から県の取組み状況を評価するものです。



- ・県政世論調査より、「あなたは住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。」という質問に対し「はい」5.2%で33人、『どちらかといえば「はい」』が15.2%で97人、合計130人で全体の20.4%であり、昨年度比約5%増となった。

15 グリーン・ツーリズムインストラクターによる受入人数(施策7)【目標値:290,000人以上(平成32年度)】



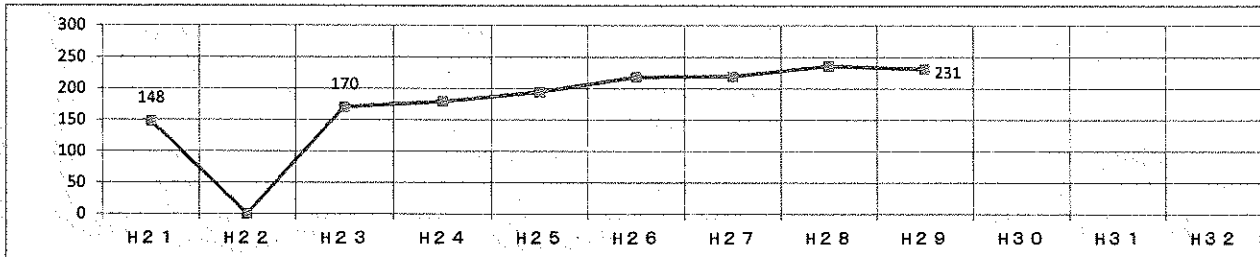
- ・震災前と比べ体験者数は同程度まで回復しているが、宿泊者数は81.7%にとどまっていることから原子力発電所事故の影響が大きく、依然として厳しい状況にある。
- ・ふくしま大交流フェア等首都圏におけるPRを継続的に行っているが、回復まではまだまだ時間がかかると思慮される。
- ・グリーン・ツーリズムを利用する層の多くがリピート客であることから、福島県のグリーン・ツーリズムが安心で安全であることをいかに多くの方々に伝えることができるかが課題である。
- ・地域ごとに、地域の魅力・資源を発掘・把握し、利用者を受け入れていく姿勢を整えること、また、SNSや商談会等を通じて、外国人への働きかけを強化していく必要がある。

16 声楽アンサンブルコンテスト全国大会の推薦及び公募団体数(施策7)

【目標値:260団体以上(平成32年度)】

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	148	0	170	179	194	218	219	236	231			

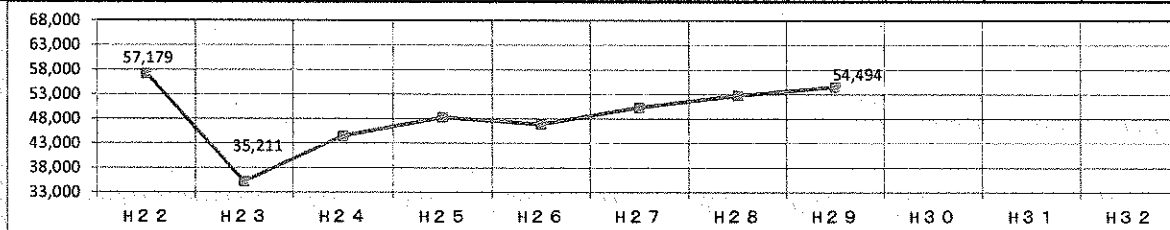
※H22は震災により中止



- ・東日本大震災以降、推薦及び公募団体数は年々増加しており、声楽アンサンブルコンテストが合唱関係者に定着してきている。
- ・引き続き、音楽による絆や歌うことの喜びという新たな価値を全国に発信し続ける必要がある。

17 観光客入込数(施策8)【目標値:63,000千人以上(平成32年度)】

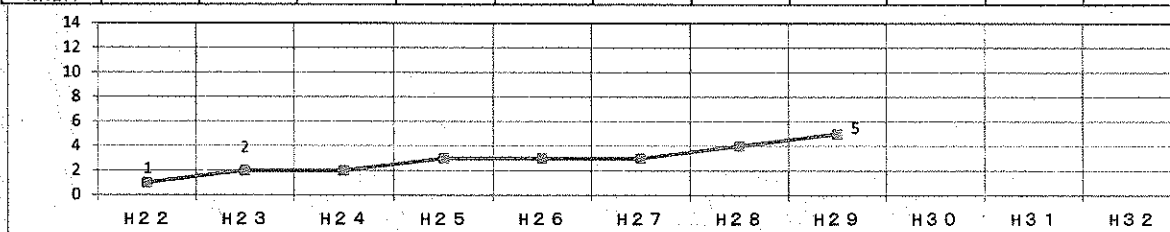
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値 (単位:千人)	57,179	35,211	44,459	48,314	46,893	50,313	52,764	54,484			



- ・平成27年の「デスティネーションキャンペーン」に引き続き「アフターDC」に取り組み、「花」・「食」・「温泉」をメインテーマに福島の魅力を全国に発信したことにより前年比4.8%増の入込となったものの、目標値の87.1%にとどまっている。
- ・引き続き観光誘客に向け、市町村等と連携した取組とともに、DCの成果を定着させ、持続可能な観光振興の取組を進める必要がある。
- ・観光による地域づくりの担い手の育成、首都圏における旅行会社向け説明会や商談会の開催等を実施する。

18 市町村景観計画策定団体数(施策8)【目標値:12団体以上(平成32年度)】

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値 (累計)	1	2	2	3	3	3	4	5			



- ・現在、景観計画策定に向けた取組を進めているのは1市、策定予定のある自治体は1市5町となっている。
- ・景観行政団体に移行したものの、景観計画未策定の市町に対し、普及啓発や情報交換会の開催などを通じ、法活用を推進していく。